



服装自由化なるか！？～今後の動きに注目～

朝夕は冷え込むようになり、自転車通学の人にとっては辛い季節がやってきました。昨年度から土日祝日のみ学校指定ジャージでの登校が許可されましたが、後期生徒総会では服装規程に関する要望が多数出ました。しかし、現規程を守らない生徒が多い状況では要望を通すことは難しいです。まずは昨年度決めた規程を守るようにしましょう。



後期生徒総会の報告と服装に関する議論について

11月6日に開催された後期生徒総会では、生徒会活動中間報告や生徒会一般会計中間報告に続き、各クラスから提案された2つの議案と1つの要望が議題として取り上げられました。

昨年度より、寒い時期の登下校時に制服の上からウインドブレーカーを着用することが認められていますが、現在の様子を見ると、制服を着用せずウインドブレーカーのみを着用している生徒や、スカートの下にウインドブレーカーパンツを着用している生徒、平日にも学校指定ジャージで登下校している生徒が見受けられます。今回の生徒総会では服装に関する様々な意見が寄せられました。その中には、夏服に半ズボンを導入する提案や、ジャージや制服のデザインを変更する提案も含まれています。制服の着用にはどのような意義があるのか、また服装を自由化することで得られるメリット・デメリットについて、生徒の皆さんが考える良いきっかけになるのではないのでしょうか。生徒の皆さん自身が、これらの問題について主体的に考え、議論を深めることは、学校生活だけでなく、将来社会に出てからも役立つ経験になるはずです。これからもこのような意見交換が活発に行われ、皆さんが学校のルールや規則について主体的に関わり、自分たちの学校生活をより良いものにしていくような環境が築かれることを期待しています。



<第3号議案 要望>

議題1【ジャージの着用について】

- ・部活帰りのジャージを許可して欲しい
- ・ジャージ(冬など)登校を許可して欲しい

議題2【学校の施設利用について】

- ・中庭を開放してほしい

要望1【学校の施設について】

- ・教室の廊下側にカーテンを設置して欲しい

検討事項【制服の自由化について】

- ・私服での登校を許可して欲しい

笑顔と感動を共有 ～東北・みやぎ復興マラソンにボランティアとして参加～

11月3日(日)に開催された東北・みやぎ復興マラソンに、本校から生徒57名、PTA役員8名、教員2名の総勢67名がボランティアとして参加しました。今年は参加者が多かったため、第13エイドステーション(仙台空港付近)とフィニッシュ会場(名取市体育館付近)の2カ所に分かれて活動を行いました。

第13エイドステーションでは、ランナーの皆さんにバナナを手渡し、フィニッシュ会場では水やスポーツドリンクを配布する係を担当しました。ランナーの方々が東日本大震災から復興した宮城の地を走る姿に私たちも心を動かされ、感謝の気持ちを込めて活動に取り組みました。特に、ランナーからの「ありがとう」という言葉に励まされ、復興の力強さや人と人とのつながりの大切さを改めて実感しました。

走る人を支える喜び ～ボランティアを通じて感じたこと～

3年 小野悠稀(船岡中出身)

東北・みやぎ復興マラソン2024が今年も開催され、昨年に引き続きボランティアとして参加しました。この大会の特徴は「コースの約7割が津波の浸水域」であることです。コース沿いには震災遺構や慰霊碑、震災後に誕生した商業施設などが点在し、ランナーが走りながら復興の軌跡を感じられるコースとなっています。

私は昨年はエイドステーションで活動しましたが、今年はフィニッシュ会場を担当しました。完走したランナーにたくさんの「お疲れ様」と「頑張れ」といった言葉をお渡し、逆にランナーからはたくさんの「ありがとう」を受け取りました。あいにくの強風と強い日差しの中での開催でしたが、走りきったランナーの方々から溢れ出る笑顔から元気と感動をいただき、「走ってくれてありがとう」という感謝の気持ちを胸に最後まで活動に取り組むことができました。今回のボランティアを通じて、「ありがとう」という言葉の持つ大きな力を改めて実感し、人と人とのつながりに胸が熱くなる、素晴らしい1日を過ごすことができました。来年の大会では、ぜひ皆さんもボランティアに参加してみてください。復興への一歩を支える貴重な経験が得られることと思います。



東北高等学校新人水泳競技選手権大会で優勝！！

10月25日～26日に山形県鶴岡市で開催された東北高等学校新人水泳競技大会において、本校2年生の布田望斗さんが男子100m平泳ぎで見事優勝を果たしました。予選では1分03秒55のタイムで3位通過でしたが、決勝では持ち前の集中力と粘り強さを発揮し、1分02秒68という素晴らしいタイムで優勝を勝ち取りました。



この結果により、来年のインターハイへの期待がさらに高まっています。布田さんの今後のさらなる飛躍を、学校一同心から応援しています。

地域探究講座フィールドワーク実施

10月16日(水)の5～7校時を利用し、1年生が「総合的な探究の時間」の一環としてフィールドワークを行いました。この活動は、7月に実施した地域探究講座に基づき、各自が興味のある講座を選択して地域の現場を訪問するものです。

訪問先は次の6か所でした。

- ①海岸林再生プロジェクト
- ②国際交流協会ともだち in 名取
- ③社会福祉法人みのり会
- ④歴史民俗資料館
- ⑤閑上小中学校
- ⑥尚綱学院大学

生徒たちは、これまでの学びや自身の関心をもとに問いを立て、現場での見聞を深めました。このフィールドワークを通じて得た経験を踏まえ、12月にはそれぞれが探究テーマを設定し、3年生まで続く本格的な探究活動がいよいよスタートします。今後も地域とのつながりを大切にしながら、主体的な学びを広げていく生徒たちの姿が期待されます。



校外学習

ニチデアートグランプリ 2024



日本デザイナー芸術学院専門学校主催のコンテストにおいて、コミック・イラストレーション部3年の跡邊菜々子さんが描いた作品『賽の河原の問題児』が、マンガ部門で優秀賞を受賞しました。幼い頃から漫画家を目指してきた跡邊さんの力作、その続きを楽しみたい方は、12月以降に以下のURLからご覧ください。 <https://nichide.ac.jp/nagp/grandprix/>



2



1



表彰状



3

仙南地区新人・県新人大会結果

前号(第8号)以降に行われた新人戦の主な結果です。入賞おめでとうございます。

◎県新人大会

弓道 男子個人 第6位 伊藤愛翔(2年)

◎仙南地区新人大会

男子バスケットボール 第2位 **おめでとう!**

男子テニス ダブルス 第1位 庄司夏琉(2年)

小山寛木(1年)

シングルス 第1位 高倉 旬(2年)

女子テニス ダブルス 第1位 新名美珀(2年)

熊田彩果(2年)

シングルス 第1位 番場葉奈(1年)

※テニスは参加校少数のため第1位のみ掲載しています

県高校書道展・県高校写真展の結果

せんだいメディアテークで開催された書道展・写真展において、本校の伝統文化部(書道班)(1年)、書道部(2、3年)と写真部が作品を出展しました。

書道部門では、4名の生徒が見事入賞を果たしました。日々の努力の成果が実り、素晴らしい結果となりました。入賞した皆さん、本当におめでとうございます!一方で、写真部の作品は惜しくも入賞には届きませんでしたが、いずれも創意工夫が凝らされた力作ばかりで、多くの来場者の目を楽しませていました。

書道展 漢字の部 金賞

矢野 穂波(3年)

佐藤 水稀(2年)

佐々木 優綺(1年)

伊藤 彩葉(1年)



◎12月の行事予定◎

3日(火)～6日(金) 2年修学旅行



1・3年午前授業

4日(水) 1年キャリアセミナー

9日(月) 3年平日課外Ⅱ期開始

20日(金) 同窓会主催講演会

23日(月) 閉講式



24日(火)～1月7日(火) 冬季休業

24日(火)～27日(金) 冬季課外